

平成〇〇年 〇月 〇〇日

品川区介護予防・日常生活支援総合事業
「いきいき活動支援プログラム」実施届出（申請）書

品川区長あて

社判を押印して
下さい。

（届出者）事業者所在地
事業者名称
代表者職・氏名

印

実施事業所名
（事業所指定番号）
所在地
担当者名・連絡先

標記のことについて、平成〇〇年度の予防通所事業における「いきいき活動支援プログラム」について、下記のとおり届出（申請）します。

- 予防通所事業にかかる時間・内容を記入してください。
* いきいき活動支援プログラムは、予防通所事業の加算ではありません。予防通所事業とは全く別のサービスとして位置付けています。
* したがって、予防通所事業といきいき活動支援プログラムはサービス内容を明確に区分する必要があります。

1. 予防通所事業の概要

(1) 実施時間

1(1) 時間について…予防通所事業に割り当てる時間を記入します。
ただし、時間を分離することが難しい場合は、分離できない理由およびそのうち予防通所事業の時間数を記入した上で、幅を持たせた記入を認めます。

(2) 実施内容

1(2) 実施内容について…上記(1)の時間において、予防通所事業として提供するサービス内容を記入します。
いきいき活動支援プログラムと同じ内容は認められません。

2. いきいき活動支援プログラムの概要

(1) 実施の目的および利用者への期待される効果（セールスポイント）

2(1) 実施目的等について…本事業の趣旨である「自立支援」や「介護予防」をめざした具体的な目的設定と、それを実現するためにどのような通所介護事業を提供するか…それによってどのような効果を利用者に期待するかを記入してください。
また、事業者の特色等を記入してください。

(2) 具体的な実施内容等

① 実施時間

2(2) ①実施時間について・・・予防通所事業の利用から引き続き提供されるプログラムであることから、予防通所事業の提供時間とは原則として重複しないこと。ただし、1(1)のとおり時間を分離することが困難な場合は、幅を持たせた記入も認めますが、いきいき活動支援プログラムとして提供する時間数を記入してください。

② 実施内容

2(2) ②実施内容について・・・事業者の特性を活かした独自の創意工夫のある内容を記入してください。

- * 予防通所事業とは分離する必要があることから同じ内容は認められません。
- * たとえば、利用者がサービスの受け手から担い手になるメニューの創出(特技を生かし他の利用者の指導を行うなど)や、在宅生活を継続するために自宅での行動を意識した内容・生活リハビリ(一緒に洗濯ものをたたむ、お掃除・片づけなどの環境整備等)など。近隣商店を活用し、自ら選択し支払う買い物支援なども考えられます。
- ・事業者のさまざまな取り組みを期待しています。

(3) 対象者の予定人数 (実人数)

(4) 実施内容の評価の周期および評価方法

2(4) 評価の周期と評価方法について・・・事業評価を行う時期、評価の仕方を明らかにしてください。

- * たとえば、事業開始前と3か月(6カ月)経過後の体力測定の実施など具体的に数値化する。そのほか、適時(または一定期間後)に利用者の心身の変化や自宅での行動の変化を本人・家族から聞き取るアンケートの実施、あるいは介護スタッフによる評価会議を開催し、個々の利用者の変化を共有するなどが考えられます。

(5) 評価結果の活用の方向性

2(5) 上記(4)で得られた評価結果の活用方法について、事業の見直しやスタッフの質の向上への反映など具体的に記入してください。
また、前年度からの改善点や工夫なども記入してください。